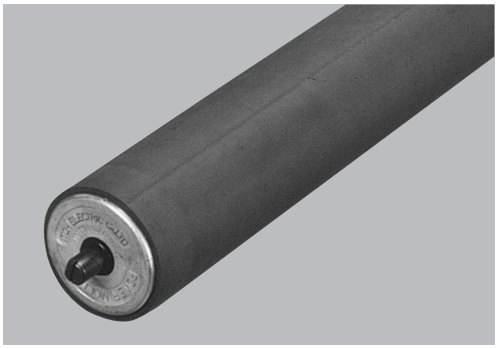
AC

パワーモーラ各種オプション

ゴムライニング

- 軽量物のスリップ防止に
- 搬送物の保護に



ゴムの種類

種　類	色	特　長	硬度	表記
天然ゴム	黒	一般用	60度	NR
ウレタンゴム	灰	耐摩耗性	90度	UR
ニトリルゴム	黒	耐油性	60度	NB
ネオプレンゴム	黒	耐熱・耐候性	60度	CR

仕上がり外径（一般仕様）

パイプ径	ライニング厚	外径	表記
φ38	t2	φ42	420
φ42.7	t3	φ48.7	487
φ48.6	t3	φ54.6	546
φ50	t3.5	φ57	570
φ57	t3	φ63	630
φ60.5	t4.75	φ70	700
φ76.3	t5	φ86.3	863

＊その他外径はお問い合わせください。

●表示例

※ゴムライニング仕様の表示について

ゴムライニングは以下の様に表します。

PM570AS－10－200－ 3 －200－ NR 630 A

ゴムの材質を表します。
- NR：天然（黒）
- UR：ウレタン（灰）
- CR：ネオプレン（黒）
- NB：ニトリル（黒）
- OL：その他ライニング

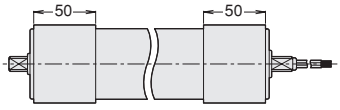
パワーモーラ（テーパーは小径側）の仕上り外径を表します。

注）630（㎜）

注）仕上り外径×10で表しています。

630÷10=63（㎜）

ゴムライニングの形状を表します。
- A：全面ゴムライニング
- B －※（OS）：両端50㎜幅ゴムライニング



※50㎜以外の長さの場合、OSが追記されます。

- C － OS：その他ゴムライニング形状

注意 ゴムライニングの摩耗により搬送物が汚れることがあります。
ゴムライニング仕様はライニングで径が大きくなるため、周速度が速くなります。

AC

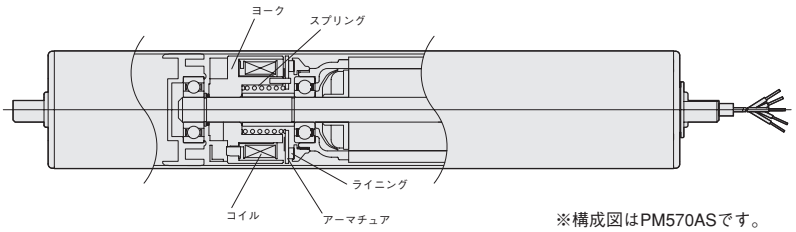
パワーモーラ各種オプション

ブレーキ内装仕様

BR

搬送物の停止、位置決め保持にご使用ください。

- 電源OFF時にブレーキが働く通電時開放型の専用電磁ブレーキを内装しています。
- 慣性防止と停止保持が必要な場合にご使用ください。
- 内装された電磁ブレーキは、非通電時にロックしモータ部にスプリング圧による制動をかけます。
- 連続運転も可能。
  ※ブレーキを連続通電で使用されますと、パイプ温度が標準仕様より高くなります。
- 機械的ストッパー装置が省略できます(搬送物その他諸条件により停止位置は変化します)。
- ブレーキとモータの電源は同じ(DC電源装置内蔵)。別電源とする場合はお問い合わせください。



※構成図はPM570ASです。

• ブレーキトルク

PM380AS／PM427AS

呼び周速	トルク(Nm)
5	5.8
8	3.8
10	2.6
15	1.6
20	1.0
30	0.7

PM486BS／PM500BS

呼び周速	トルク(Nm)
5	5.7
10	2.3
15	1.4
20	2.6
30	1.6
40	1.3
50	1.0

PM570AS／PM570BP／PM605AS／PM605BP

呼び周速	トルク(Nm)	
	AS	BP
4	21.6	—
5	15.8	41.5
8	10.8	29.3
9	8.6	—
10	7.9	17.3
13	6.2	—
15	4.4	10.9
20	3.1	7.6
30	2.1	5.3
40	—	3.5
45	1.6	—
50	1.5	—
60	1.1	—

PM763BS

呼び周速	トルク(Nm)
5	74.7
8	55.9
10	37.0
20	16.5
30	12.2
40	8.0

• ブレーキ電流・消費電力一覧

	PM380AS／PM427AS		PM486BS／PM500BS		PM570AS／PM605AS		PM570BP PM605BP	PM763BS	
電源電圧(V)	3相200	単相100	3相200	単相100	3相200	単相100	3相200	3相200	単相100
消費電力(W)	5.6	4.1	3.8	2.3	7.3	5.4	11.6	6.8	5.2
電　流(A)	0.03	0.05	0.02	0.03	0.04	0.06	0.07	0.04	0.06

■標準ブレーキ電圧：単相100V 3相200V
＊異電圧についてはお問い合わせください。

• 製作可能最小パイプ寸法（mm）

型　式	PM380AS/PM427AS	PM486BS/PM500BS	PM570AS/PM605AS	PM570BP/PM605BP	PM763BS
ワンタッチ取付機構なし	250	250	250	250	300
ワンタッチ取付機構付	270	300	300	300	—

AC

パワーモーラ各種オプション

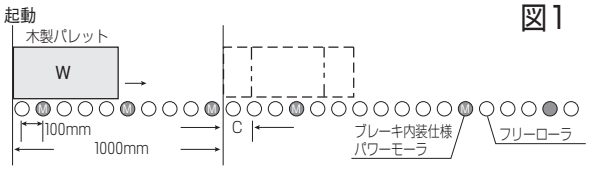
ブレーキ内装仕様

制動距離

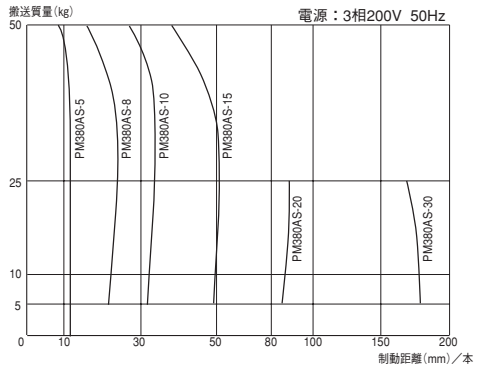
• ブレーキ付パワーモーラ１本にかかる制動特性です。

1. 図のような状態からラインを起動させ、ワークを右側へ搬送させます。
2. 1mを過ぎた所でラインを停止させブレーキを作動させます。
3. 停止させた位置からワークが動いた距離（C）を測定します。

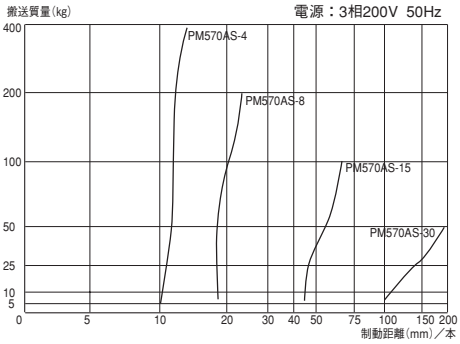
図1



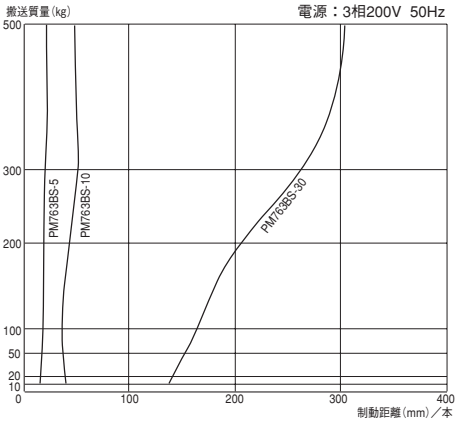
• PM380ASブレーキ付制動特性（1本制動）（図1のC）



• PM570ASブレーキ付制動特性（1本制動）（図1のC）

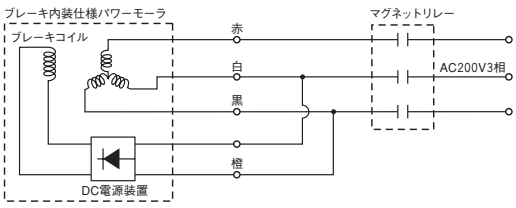


• PM763BSブレーキ付制動特性（1本制動）（図1のC）



ブレーキ内装仕様基本配線

■ 3 相200V

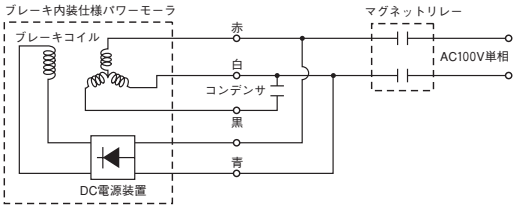


●DC電源装置内蔵型で、モータ電源と同じです。

適合機種

PM380AS・PM427AS・PM486BS・PM500BS・PM570AS
PM570BP・PM605AS・PM605BP

■単相100V

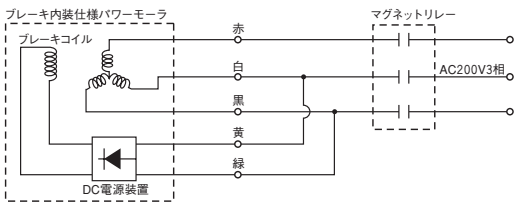


●DC電源装置内蔵型で、モータ電源と同じです。

適合機種

PM380AS・PM427AS・PM486BS・PM500BS・PM570AS
PM605AS

■ 3 相200V



●DC電源装置内蔵型で、モータ電源と同じです。

適合機種

PM763BS

⚠ ブレーキとモータの電源を別電源とする場合は別途ご相談ください。
インバータ使用時にはブレーキリード線の配線は一次側で制御してください。

AC

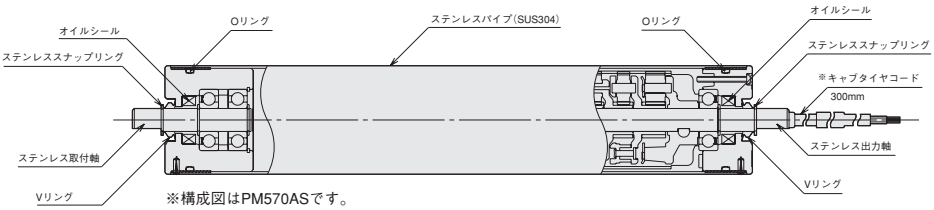
パワーモーラ各種オプション

防水仕様

WA

- 保護等級IP65です。
- 洗浄ライン、屋外等水のかかる場所及び水洗いの必要なラインに
- 軸シールによる防水仕様、オールステンレス製です。

ご使用方法	パワーモーラオプション		
	オプションなし(IP50)	防滴(IP55)	防水(IP65)
洗浄ライン			○
洗浄後ライン		○	○
搬送物に水滴		○	○
コンベヤを洗浄			○



※構成図はPM570ASです。
※PM763BSはキャブタイヤコードが1000㎜となります。
※キャブタイヤコードは機種、仕様、パイプ寸法により外部接続となる場合があります。
＊材質によってはもともと磁性を帯びていたり、加工後磁性を帯びるものがあり、場合によってはステンレスが錆びることもあります。

保護等級

IP65
- 周期的に洗浄する場所などで、水の直接噴流によって有害な影響を受けない。
- 粉塵が内部に侵入しない。

• 防水仕様製作可能機種・速度（3相200Ｖ）

	型式／呼び周速（m/min）	4	5	8	9	10	13	15	20	30	40	45	50	60
軽荷重用	PM380AS/PM427AS	—	○	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—
中軽荷重用	PM486BS/PM500BS	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	—	—
中重荷重用	PM570AS/PM605AS	※○	※○	※○	※○	※○	※○	※○	○	○	—	—	—	—
	PM570BP/PM605BP	※ 全呼び周速												
	PM570AU/PM605AU	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
重荷重用	PM763BS	全呼び周速												
モータプーリ	OR-F	全呼び周速												
	OR-G													
	IP-G													

■単相100V仕様の場合は製作可能呼び周速は異なります。
※ワンタッチ取付機構はオプションとなります。またPM570AS/605ASの呼び周速20、30にはワンタッチ取付機構は付きません。

⚠注意 呼び速度により製作できない、又はトルクがダウンすることがありますので詳細はお問い合わせください。

•製作可能最小パイプ寸法(mm)

型式	PM380AS/PM427AS	PM486BS/PM500BS	PM570AS/PM605AS	PM570BP/PM605BP	PM570AU/PM605AU	PM763BS	※2OR-F	※3OR-G	IP-G
ワンタッチ取付機構なし	—	—	260	240	260	250	270	270	270
ワンタッチ取付機構付	250	260	※1290	※1260	—	—	—	—	—
取付金具（付属品）	No.E-021-D	No.C-001-BD	No.C-001-D			—	—	—	—

＊1 PM570/PM605シリーズの防水仕様ワンタッチ付はオプションとなります。ご用命時には WA-WT とご指定ください。
＊2 呼び周速が2と4のものは最小寸法が290となります。
＊3 呼び周速が2.5と5のものは最小寸法が290となります。

保護等級(IP)について(IEC60529、IEC60034-5)

電気機器やキャビネットの保護構造の表記として、IEC規格では、電気機器の防水試験及び固形物の侵入に対する保護等級(IEC60529)および回転電気機械－第5部:回転電気機械の一体型設計による保護等級の分類(IEC60034-5)を規定しています。これらの保護等級の呼称表示は、保護特性記号IPの後に2つの数字を続けることによって表わし、1番目の数字は第1特性を、2番目の数字は第2特性を表わします。

IP○○
- 第2記号(水の侵入に対する保護等級0～8)
- 第1記号(人体及び固形異物に対する保護等級0～6)
- 保護特性記号(International Protection)

第一記号説明		
人体及び固形異物に対する保護。		
第一記号	内容	保護の程度
0	無保護	特には保護はされていない。
1	50mmより大きい固形物に対する保護	人体の表面積の大きな部分、例えば足などが謝って内部の充電部や可動部に接触する恐れがない。直径50mmを超える固形物体が内部に侵入しない。
2	12mmより大きい固形物に対する保護	指先、または長さが80mmを超えない指先類似物が内部の充電器や可動部に接触する恐れがない。直径12mmを超える固形物体が内部に侵入しない。
3	2.5mmより大きい固形物に対する保護	直径または厚さが2.5mmを超える工具やワイヤなどの固形物体の先端が内部に侵入しない。
4	1.0mmより大きい固形物に対する保護	直径または厚さが1.0mmを超えるワイヤや銅体などの固形物体の先端が内部に侵入しない。
5	防塵型	粉塵が内部に侵入することを防止する。若干の粉塵の侵入があっても正常な運転を阻害しない。
6	防塵型	粉塵が内部に侵入しない。

第二記号説明		
水の侵入に対する保護		
第二記号	内容	保護の程度
0	無保護	特に保護はされていない。
1	滴下する水に対する保護	鉛直に落下する水滴によって有害な影響を受けない。
2	15°傾斜したとき落下する水に対する保護	正常な取付位置より15°以内の範囲で傾斜したとき、鉛直に落下する水滴によって有害な影響を受けない。
3	噴霧水に対する保護	鉛直から60°以内の噴霧水に落下する水によって有害な影響を受けない。
4	飛沫に対する保護	いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けない。
5	噴流水に対する保護	いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない。
6	波浪に対する保護	波浪または、いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない。
7	水中への浸漬に対応する保護	規定の圧力、時間で水中に浸漬しても有害な影響を受けない。
8	水没に対する保護	製造者によって規定される条件に従い、連続的に水中に置かれる場合にて記する。原則として完全密閉構造である。

AC　弊社ホームページに「パワーモーラ選定サービス」を用意しております。(詳細は本紙P.12をご参照)

■パワーモーラ選定方法

●パワーモーラ１本当りの許容荷重（kg）

〈衝撃荷重〉
衝撃荷重がある場合は衝撃の程度、搬送物の材質、質量等で数値がかなり異なりますので充分余裕をとってください。腹にかかえたものを500～650(mm)高さのコンベヤに積込むような場合は、搬送物質量の2～2.5倍を想定してください。肩の高さから500～650(mm)高さのコンベヤに積込むような場合は搬送物質量の3倍を想定してください。

〈レベル〉
パワーモーラの外筒と軸がフリーローラと同じ場合はフリーローラの軸穴をそのまま利用できます。寸法が異なる場合は、フレーム軸穴位置を調整してフリーローラとのレベルを出し、荷重が均等にかかるようにしてください。
搬送物の材質・平滑度により、パワーモーラに接触しない場合は若干高めにしてください。ただし、荷重はパワーモーラだけで受けることになりますのでパワーモーラの許容荷重にご注意ください。

記載の数値は標準品（各種仕様を含まないもの）で測定したものです。
各種仕様の追加やライニング形状・材質により数値は変動します。

〔単位：kg〕

型　式	パイプ径mm	パイプ肉厚mm	パイプ寸法 mm 200	250	300	400	500	600	700	800	900	1000	スラスト荷重
PM380AS・PM380AU	φ38	1.2	50	45	45	40	35	30	—	—	—	—	30
PM427AS・PM427AU	φ42.7	1.5	75	65	65	55	45	35	30	25	—	—	
PM486BS・PM486BU	φ48.6	1.4	65	65	65	55	45	35	30	25	20	20	
PM500BS・PM500BU	φ50	1.4	65	65	65	55	45	35	30	25	20	20	
PM570AS・PM570BP PM570AU	φ57	1.5	120	100	100	100	80	80	60	60	50	50	50
PM605AS・PM605BP PM605AU	φ60.5	3.2	190	160	160	160	130	130	100	100	80	80	
PMT42YS	φ42.7(小径)	—	—	65	65	55	45	—	—	—	—	—	30
PMT42AS		—	—	—	—	—	—	80	60	60	50	50	50
PMR42BS		—	—	—	65	55	45	35	—	—	—	—	
PM763BS	φ76.3	3.65	—	250	250	225	200	200	—	—	—	—	70
OR-F	φ102	3.4	—	400	400	350	350	300	—	—	—	—	
OR-G	φ115	4.0	—	400	400	350	350	300	—	—	—	—	
IP-G	φ115	4.0	—	400	400	350	350	300	—	—	—	—	

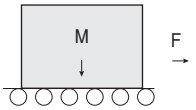
●パワーモーラの本数の決め方

- ころがり摩擦係数はローラのレベル差や搬送物底面の状態、材質等によって大きく変化します。
- 選定時は余裕を見て最大値で計算するようにしてください。
- 起動速度が重要視される場合は安全を見てパワーモーラの本数を多くしてください。
- 衝撃荷重がある場合は衝撃の程度、質量等で数値がかなり異なりますので充分余裕をとってください。

搬送物の質量・底面の大きさ・材質・平滑度に関係します。搬送に必要な接線力Fは次式で求められます。

【水平搬送時】$F = \mu \cdot 9.8M$
【傾斜搬送時】$F = \mu \cdot 9.8M \cos\theta + 9.8M \sin\theta$

F＝必要接線力(N)
M＝搬送物の質量(kg)
μ＝搬送物の底面の材質によるころがり摩擦係数
θ＝傾斜角



μ：材質によるころがり摩擦係数

	鉄	樹脂	木(合板)	ウレタンゴム	天然ゴム	段ボール
鉄パイプ	0.01～0.03	0.02～0.04	0.02～0.05	0.02～0.05	0.03～0.05	0.07～0.11
ウレタンゴム	0.02～0.05	0.02～0.05	0.02～0.05	0.02～0.05	0.03～0.05	0.07～0.11
天然ゴム	0.03～0.05	0.03～0.05	0.03～0.05	0.03～0.05	0.03～0.05	0.07～0.11

パワーモーラの本数は必要接線力Fとパワーモーラ１本の搬送接線力(Tf)を比較して決定してください。

パワーモーラ本数	＝必要接線力(F)÷搬送接線力(Tf)〔本〕

●連動時の計算

最端部のフリーローラの接線力は連動負荷量をパワーモーラのカタログ接線力値から引いた値になります。

$P1 = P0 - BL \cdot n$

P0：カタログ定格接線力
P1：連動時の最端部フリーローラの定格接線力
BL：各仕様の連動1本あたりの負荷量(表1)
n：連動本数

(表１:各仕様の連動１本あたりの負荷量)

2溝パイプ	Vプーリ
0.6N	1.7N

また、搬送に必要な接線力(搬送物より算出した数値)が各仕様の最大伝達力を超えないようにします。(表２)

(表２:各仕様の最大伝達力)

2溝パイプ	Vプーリ
35N	100N

(例１)
搬送物：
搬送面材質　段ボール　　転がり摩擦係数 μ=0.11　　質量M=30kg　　幅450mm　長さ400mm

コンベヤ：
傾斜角度 θ＝0度(水平搬送)　　ローラピッチ100mm　　50Hz

パワーモーラ：
PM380AS

搬送物の幅より、ローラ幅500mmを選択。

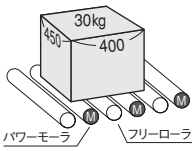
■搬送に必要な接線力Fは

$F = \mu \cdot 9.8M$
$= 0.11 \times 9.8 \times 30 = 32.3$(N)

搬送物に32.3Nの接線力がかかれば起動発進します。
PM380ASを50Hz 時で使用する場合

PM380AS-５・８型は1本
PM380AS-10・15・20型は2本
で起動発進できます。

パワーモーラ1本にかかる荷重はローラピッチと搬送物の長さより4本とします。
30kg÷4本＝7.5kg
500巾の許容荷重35kgの範囲内です。
(パワーモーラ１本当たりの許容荷重 (kg))



搬送接線力 (Tf)

呼び周速	周速度(m/min)	接線力(N) 定格	搬送	トルク(N・m) 定格	搬送
5	4.2	22.1	72.6	0.42	1.38
8	6.3	14.7	47.9	0.28	0.91
10	9.5	9.5	31.6	0.18	0.60
15	13.3	7.9	26.3	0.15	0.50
20	20.4	5.3	17.4	0.10	0.33
30	31.7	3.2	11.1	0.06	0.21

(例２)
搬送物：
搬送面材質　樹脂　　転がり摩擦係数 μ=0.04　　質量M=30kg　　幅450mm　長さ800mm

コンベヤ：
傾斜角度 θ＝0度(水平搬送)　　ローラピッチ100mm　　50Hz

パワーモーラ：
PM570BP-15の２溝パイプ仕様を選択。 フリーローラ８本連動

搬送物の幅より、ローラ幅500mmを選択。

■搬送物に必要な接線力 F は、

$F = \mu \cdot 9.8M$
$= 0.04 \times 9.8 \times 30$
$= 11.8$(N)

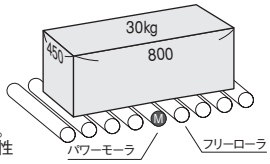
(表２)より、２溝パイプ仕様が選択可能です。
また、PM570BP-15の定格接線力はモータ特性より35.8Nなので、最端部のフリーローラの接線力P１は、

P1=35.8-0.6×8
=31

搬送物に必要な接線力は11.8Nなので

F ＜ P1
11.8 ＜ 31

∴　搬送可能であることが分かります。
また、耐荷重においても、パワーモーラ1本にかかる荷重は、
30÷8≒3.8kg
1本当たりの許容荷重表より、
ローラ幅500mmの許容荷重80kgの範囲内です。



3相200V/50Hz

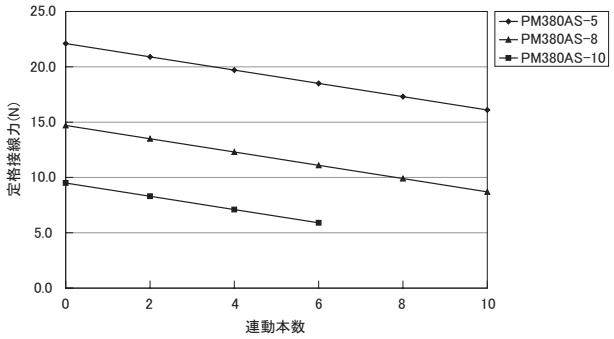
呼び周速	周速度(m/min)	接線力(N) 定格	搬送	トル 定
5	5.0	136.5	337.4	3.8
8	7.0	96.5	238.5	2.7
10	9.9	68.1	168.7	1.9
15	18.9	35.8	88.5	1.0
20	25.5	28.4	70.0	0.8
30	36.0	20.0	49.5	0.5
40	55.4	13.0	32.2	0.3

フリーローラとの連動

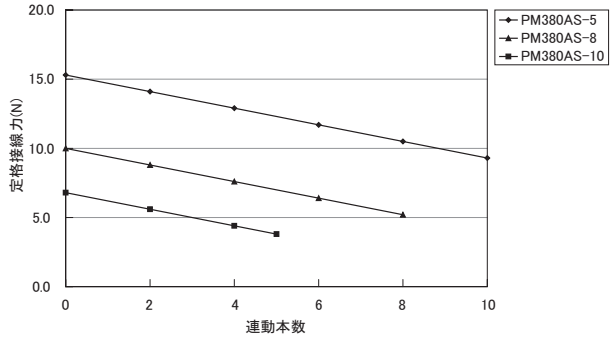
パワーモーラ（2溝パイプ仕様、Vプーリ仕様）でフリーローラを連動する場合、ベルト伝達によるトルクロスが生じます。

- 数値は目安であり、ベルトの材質、テンション、周囲温度などの条件により異なります。
- フリーローラはパワーモーラの両側に均割配列することが前提となります。
- グラフは代表的な呼び周速を掲載しています。その他の呼び周速についてはパワーモーラ選定方法をご参照の上算出ください。

▼PM380AS（Vプーリ仕様　丸ベルト使用時）　50Hz

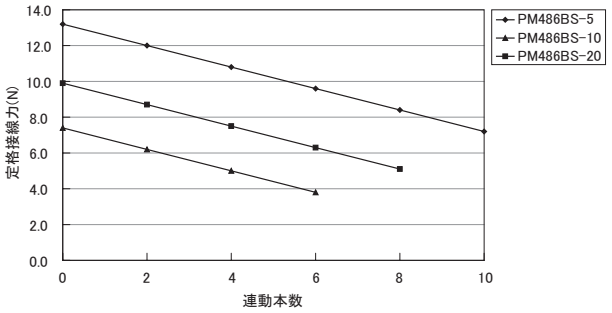


▼PM380AS（Vプーリ仕様　丸ベルト使用時）　60Hz

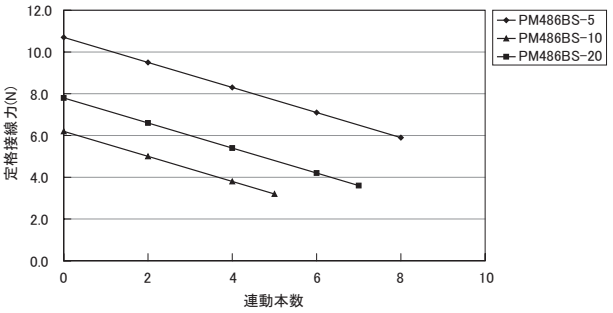


PM380ASのVベルト使用時の連動本数に関してはお問合せください。

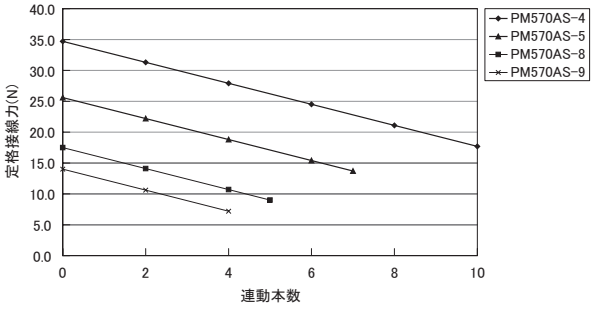
▼PM486BS（2溝パイプ仕様）　50Hz



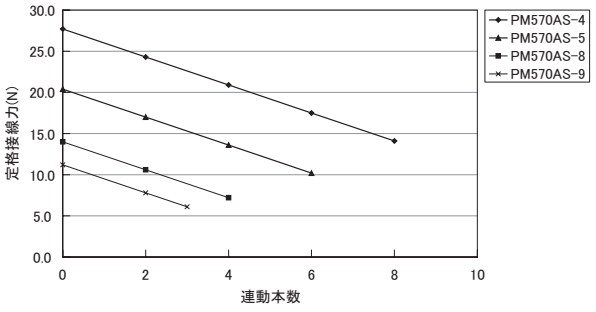
▼PM486BS（2溝パイプ仕様）　60Hz



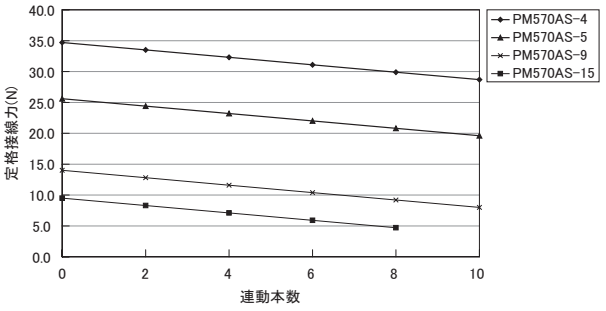
▼PM570AS（Vプーリ仕様）　50Hz



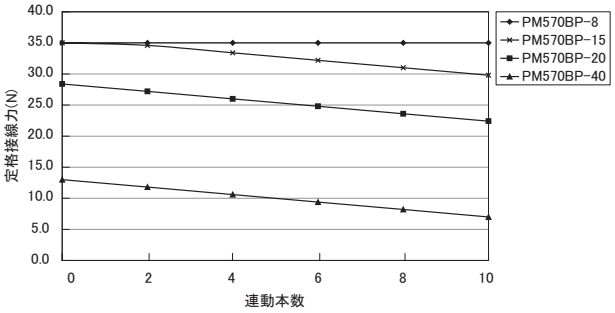
▼PM570AS（Vプーリ仕様）　60Hz



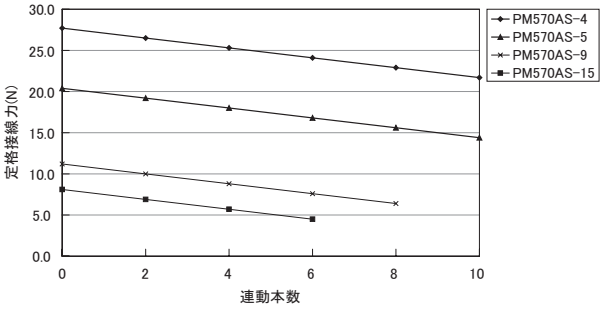
▼PM570AS（2溝パイプ仕様）　50Hz



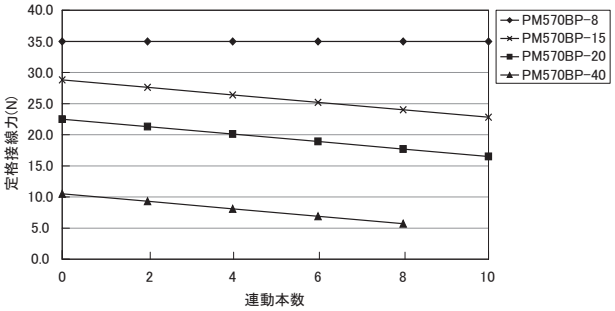
▼PM570BP（2溝パイプ仕様）　50Hz



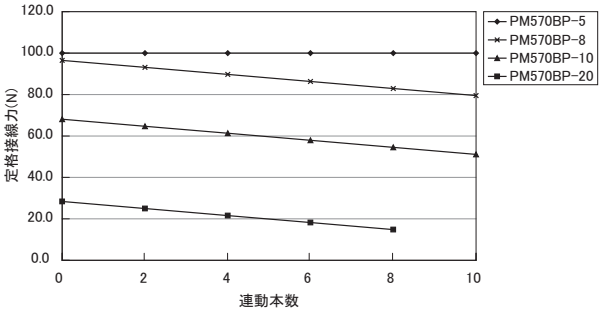
▼PM570AS（2溝パイプ仕様）　60Hz



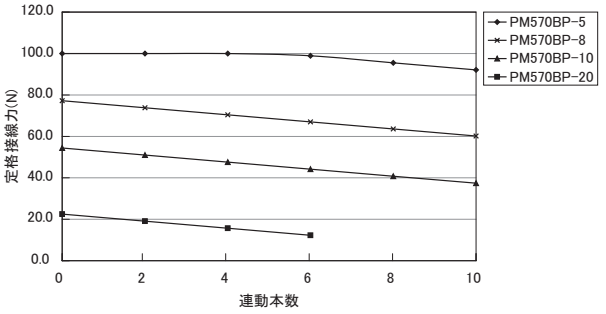
▼PM570BP（2溝パイプ仕様）　60Hz



▼PM570BP（Vプーリ仕様）　50Hz



▼PM570BP（Vプーリ仕様）　60Hz



AC

■設計上のご注意

以下の数値及びグラフは特に記載がない限り標準品（各種仕様を含まないもの）で測定しています。
各種仕様の追加により数値は変動します。

1 拘束

パワーモーラは、万一通電状態でロック（拘束）されても短時間でコイルが焼損することはありませんが、繰返しロックされるとコイルの温度上昇により、徐々に絶縁が劣化してモータ焼損の原因になります。
ロック状態が発生する可能性がある場合はリミットスイッチ、リレー等で非通電にするかアキューム型をご使用ください。

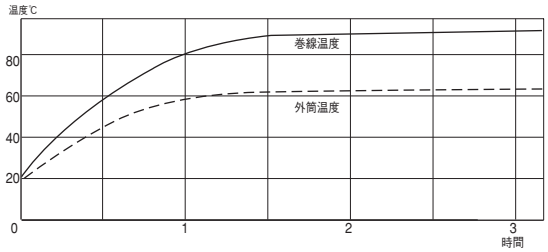
型　式	可否	ロック特性
PM380AS・PM427AS・PM486BS・PM500BS PM570AS・PM605AS・PMT42YS・PMT42AS PMR42BS	×	突発的最高許容時間約20分
PM570BP・PM605BP	××	突発的最高許容時間約3分
PM380AU・PM427AU・PM486BU・PM500BU PM570AU・PM605AU	○	連続ロック可

サーマルプロテクタ内蔵タイプ
PM763BS・OR-F・OR-G・IP-G

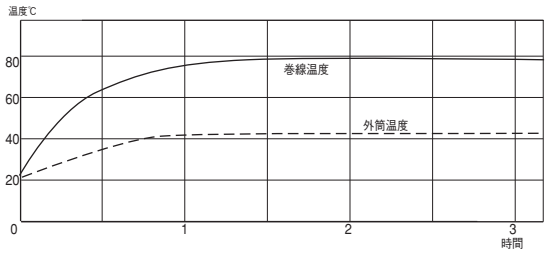
2 温度上昇

パワーモーラの使用周囲温度は−10℃～+40℃です。
通常運転時にはパワーモーラの外筒温度が周囲温度より、約25℃上昇しますが焼損の心配はありません。

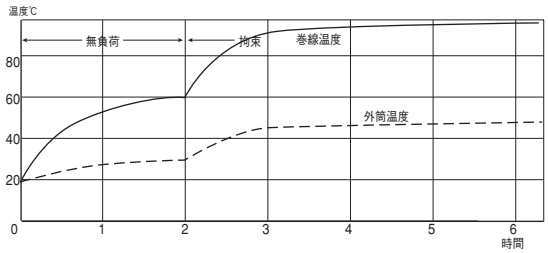
▼PM380AS温度特性〈PM380AS-5-500-3-200　200V50Hz（室温20℃）〉



▼PM570AS温度特性〈PM570AS-4-500-3-200　200V50Hz（室温20℃）〉

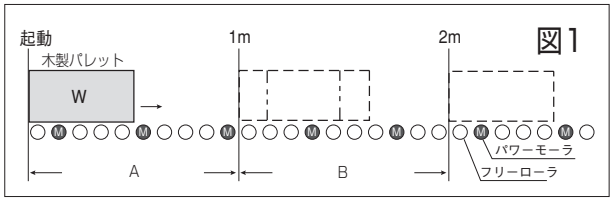


▼PM570AU温度特性〈PM570AU-4-500-3-200　200V50Hz（室温20℃）〉



3 搬送速度変動

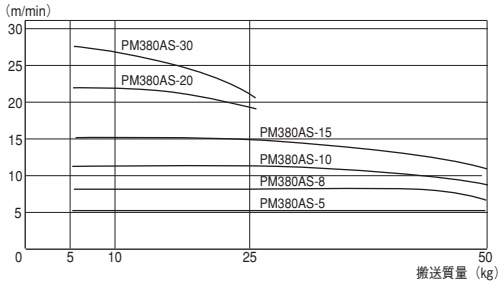
パワーモーラの周速度（搬送速度）は搬送物の質量・材質・周囲温度により、変動する場合があります。次の実験値をご参考にしてください。



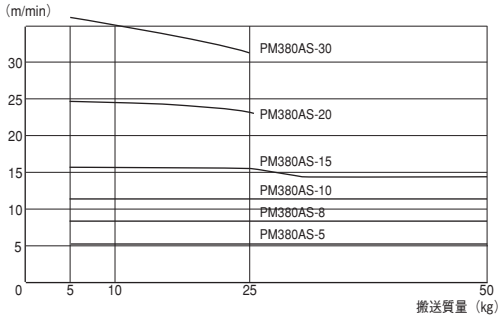
パワーモーラ１本による搬送速度変動

▼PM380AS　3相200V 50Hz

● 0 → 1m　図１のＡの平均速度（PM380AS１本駆動）

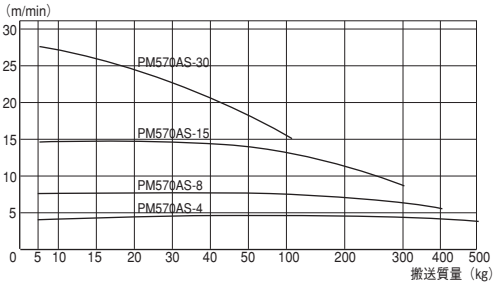


● 1 → 2 m　図１のＢの平均速度（PM380AS１本駆動）

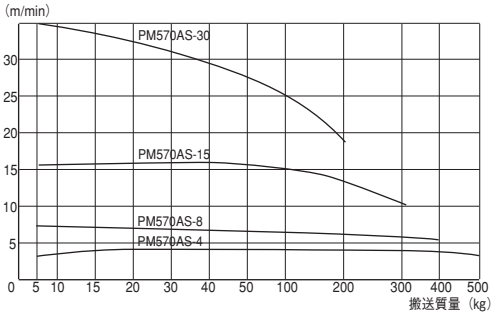


▼PM570AS　3相200V 50Hz

● 0 → 1m　図１のＡの平均速度（PM570AS１本駆動）



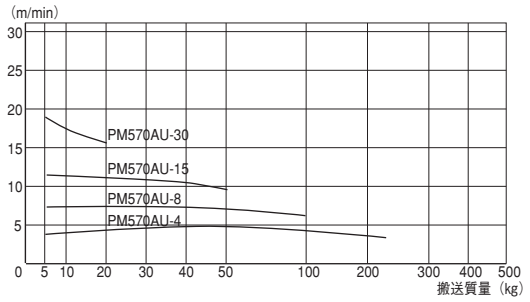
● 1 → 2m　図１のＢの平均速度（PM570AS１本駆動）



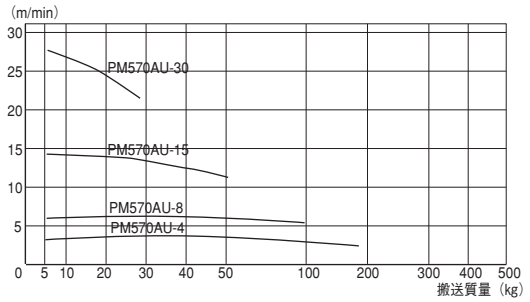
AC

▼PM570AU　3相200V 50Hz

●0→1m　図1のAの平均速度（PM570AU 1本駆動）

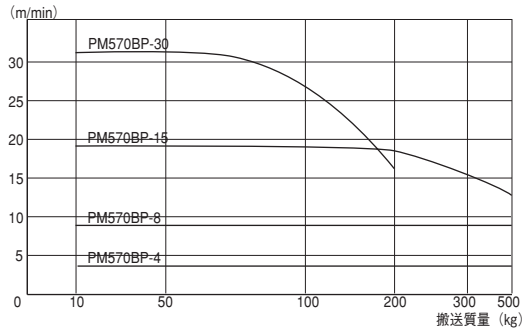


●1→2m　図1のBの平均速度（PM570AU 1本駆動）

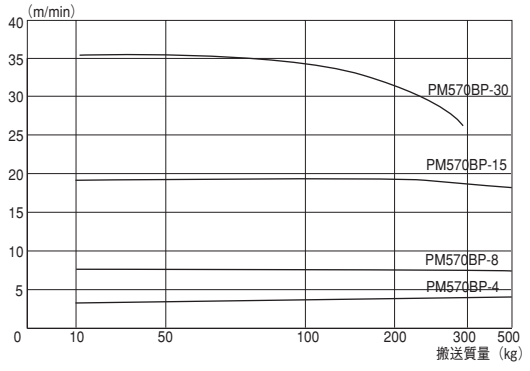


▼PM570BP　3相200V 50Hz

●0→1m　図1のAの平均速度（PM570BP 1本駆動）

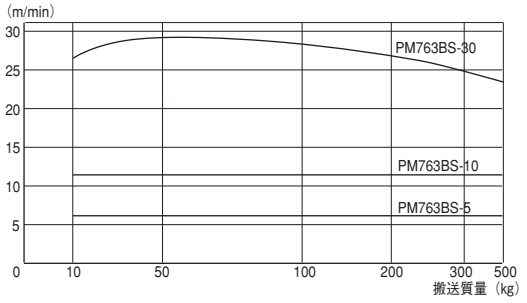


●1→2m　図1のBの平均速度（PM570BP 1本駆動）

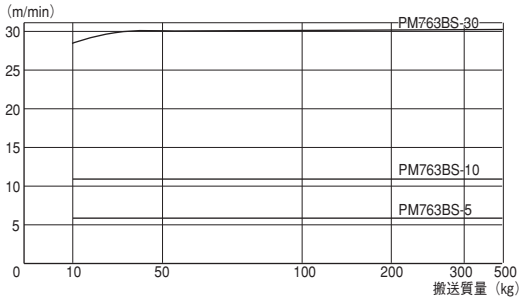


▼PM763BS　3相200V 50Hz

●0→1m　図1のAの平均速度（PM763BS 1本駆動）



●1→2m　図1のBの平均速度（PM763BS 1本駆動）



4 間欠運転

間欠運転の最短タクトタイムはコイル温度の関係よりおおむね次のとおりです。

型　式	最短タクトタイム
PM380AS・PM427AS・PM486BS・PM500BS PM570AS・PM605AS・PMT42YS・PMT42AS PMR42BS	3秒ON、2秒OFF
PM570BP・PM605BP	3秒ON、5秒OFF
PM763BS・OR-F・OR-G・IP-G	10秒ON、10秒OFF

アキュームタイプ（PM380AU、PM427AU、PM486BU、PM500BU、PM570AU、PM605AU）はタクトタイムの制限はありません。

注）単相仕様はタクトタイムは長くなります。詳細はお問い合わせください。

5 接続部速度差

同一ライン、接続ラインで搬送速度が変わる場合、急激な速度変更はパワーモーラに強い衝撃を与えますのでさけてください。搬送質量・速度により異なりますが、下流の速度が上流速度のおおむね50%以内なら支障ありません。

6 コンベヤ面レベル

●搬送物の底面やコンベヤローラ面の水平精度が悪いと、空回りや搬送物の方向がゆがむ原因となり、特に重量物では実質荷重を受けるローラの許容荷重をこえる場合がありますのでご注意ください。

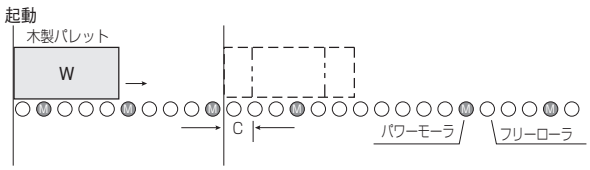
●搬送物の荷造バンド・底面中心のふくらみ等により、搬送物が斜めになることがあります。このような場合は両端ゴムライニング品等をご使用ください。

AC

7 慣性

・パワーモーラは非通電にしてもモータと搬送物の慣性により即時に停止いたしません。次の実験値をご参照ください。

1. 図のような状態からラインを起動させ、ワークを右側へ搬送させます。
2. 1mを過ぎた所でラインを停止させ停止距離を測定します。



●制動距離

(例)PM570AS

呼び周速	4		8		15		30	
搬送物質量(kg)	200	400	100	200	50	100	25	50
停止距離C(mm)	80	95	200	240	410	560	1500	1800

(例)PM380AS

呼び周速	5			10			15			20			30		
搬送物質量(kg)	5	10	25	5	10	25	5	10	25	5	10	25	5	10	25
停止距離C(mm)	145	140	85	300	270	220	410	390	310	610	590	500	650	720	860

・慣性はパワーモーラの速度及び型式・搬送物・質量・使用時間等により異なります。
・制動距離を短くしたい場合はブレーキ内装仕様品をご使用ください。

8 変速

⚠注意 PM380AS / PM427ASおよびアキューム(AU)タイプはインバータの使用ができません。
搬送トルクの低下や不安定動作の恐れがあります。

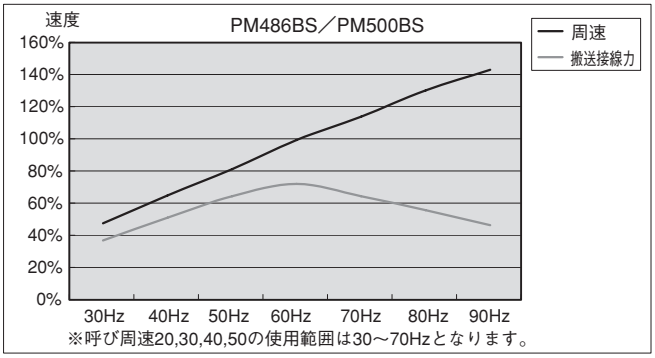
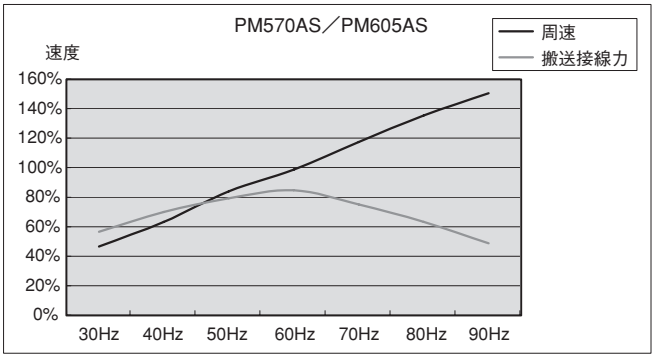
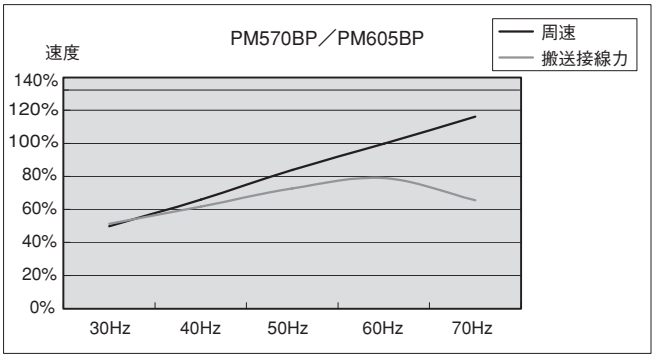
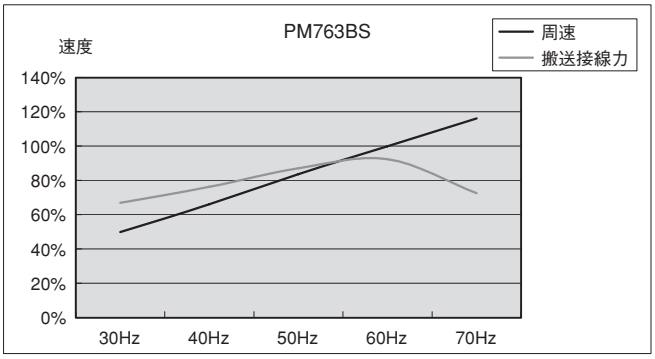
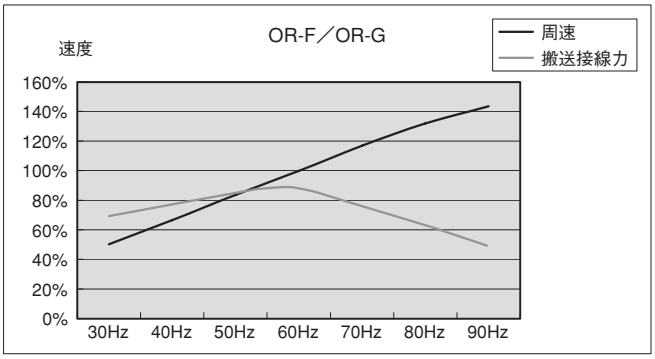
●パワーモーラの速度を変える場合はインバータをご利用ください。

●使用周波数は30～90Hz(機種によっては30～70Hz)の範囲で使用してください。

⚠注意 ブレーキ内装仕様と電磁式フリークラッチ仕様を使用する場合ブレーキリード線及びフリークラッチリード線の配線はインバータの一次側で制御してください。
周波数設定が低い場合にこれらが十分に機能しない場合があります。

●インバータを使った時の接線力と周速

基底周波数60Hzです。



※呼び周速20,30,40,50の使用範囲は30～70Hzとなります。